

協力:大阪大学21世紀懐徳堂

幾何学 の双曲平面



今回はみなさんを「双曲平面」の世界にご案内します。

この世界は見かけはただの円板なのですが、そこに住む「双曲平面人」は円の外周に近づくと本人たちの気づかぬうちにどんどん小さく縮んでいってしまうので、彼らの主観ではどれだけの距離を進んでも外周までたどり着くことはできません。実はこの世界は、ユークリッドが紀元前3世紀頃に与えた幾何学の体系について考えに考え抜いた数学者たちが、19世紀になってようやく見出した「非ユークリッド的」世界なのでした。双曲平面は20世紀の画家M. C. エッシャーの作品《円の極限I-IV》の題材にもなっています。この一風変わった世界をどうしたら「理解」できるのか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

日時: **2016年8月10日(水) 10:00~12:00**

場所: **理学部 E棟 4階 E404 大セミナー室**

講師: **松本 佳彦** 助教

●参加費・事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

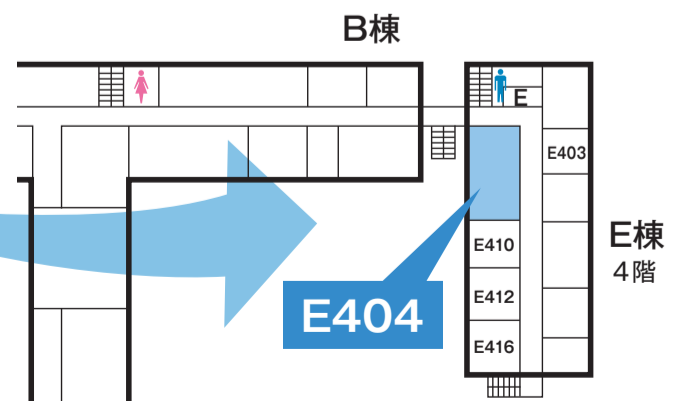
問い合わせ先 **理学研究科 数学事務室** TEL: 06-6850-5708

講師: 松本 佳彦 助教

オープンキャンパスも同時開催されます!

オープンキャンパス参加には事前申し込みが必要です。

▶ <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/guidance>



会場へは大阪モノレールの「柴原駅」、または阪急宝塚線の「石橋駅」が最寄り駅です。柴原駅から徒歩5分、石橋駅からは徒歩25分で着きます。